

日本文化の中心地!?



法隆寺は7世紀後半の白鳳時代に創建されています。比江で法隆寺式の瓦が多く出土したため、昭和44年に高知女子大の岡本建児教授によって発掘調査されました。

写真の石は塔の心礎の大石と認められたもので、塔の高さは推定32.4m。法隆寺の五重の塔の高さが32mだから、当時それより40cmも高い塔が比江にあった……とすれば、聖徳太子が在り、政務を執った天子の館よりも大きな建築物がこの地にあったことになります。これは普通なら許されないこと……。天皇家が直々にこの地に建設を命じたと考えるのが自然ではないでしょうか。そういう点から、当時比江の地が日本の国にとって重要な位置にあったという説もあり、またそう考えると夢がふくらんできます。

同和教育シリーズ

部落の実態と今後の課題①

〔採用試験の現場では〕

前月号に、日株式会社の入社選考で、又(母)子家庭などの恵まれない家庭の子どもたちが、不当な差別によって仕事からしめ出されている事例を出しました。これらの就職差別は、部落差別とはかかわりはないように受けとめる人もいますが、

本当はそうではありませぬ、これらの一般的な就職差別を土台にして、

部落の人々がより強い差別によって仕事からしめ出されているからです。

それでは、就職選考の二次試験の際によく使用されていた社月紙(会社書)には、どんな

ことを書かされて

いま部落は、そして……。

いたのでしようか。

A社の例(左表)にあるように、①の項目では、本籍地と戸籍上の身分を書かさせています。

②の項目では、妻の実家の氏名や職業まで書かせ、死亡

首の死亡年月、病名、生前の職業など、家族関係を徹底的に調べようとしています。

③の項目では、学費の出所や金額、奨学金の種類なども書かせています。

《A社就職申込書》

① 本籍地及び戸籍上の身分		出生地 (都道府県名)		生育地 (都道府県名)	
② 家族関係					
区分	氏名	生年月日	学歴	職業	
父	氏名	生年月日			
母	氏名	生年月日	実家の氏名及び職業		
妻	氏名	生年月日			
兄弟	氏名	生年月日	学歴	職業	
姉					
妹					
③ 既婚の姉妹も記入のこと					
④ 職業は具体的に勤務会社名、地位記入のこと					
⑤ 2年以内、病名、生前の職業記入のこと					
⑥ 1番子の場合に実親父母併記のこと					
⑦ 死亡の場合は死亡年月、病名、生前の職業記入のこと					
⑧ 経済生活 (口で固むこと)					
経	家庭の生活	裕福・中流・稍困窮			
事	学費	出資者	続柄	最近の月額	
情	奨学金	種類及年度	月額		
			円	円	